

広島大学学術情報リポジトリ  
Hiroshima University Institutional Repository

Title	表示逆接关系的「ても」的偏#研究
Author(s)	TAKANAGA, Shigeru
Citation	Hiroshima interdisciplinary studies in the humanities , 18 : 25 - 30
Issue Date	2023-03-31
DOI	
Self DOI	
URL	<a href="https://ir.lib.hiroshima-u.ac.jp/00054109">https://ir.lib.hiroshima-u.ac.jp/00054109</a>
Right	
Relation	



## 表示逆接关系的「ても」的偏误研究

高永 茂

広島大学

**Abstract:** Using the Composition Corpus of Japanese Learners, this paper examines the types of misuses that Chinese Japanese learners make when acquiring 「ても」. In addition, by comparing terms expressing adversative relationship, 「か」「けど」「ながらも」, it focuses on the analysis of the errors in the inverse conditional sentences and the reasons for the errors. This article believes that when using "ても", besides the need to express the adversative relations, two conditions need to be met: the first condition is that the speaker initially thought that the former event was a factor for the establishment of the latter event, and the second condition is that the former event cannot be the only factor for the establishment of the latter event. If any of these conditions are missing, it will cause misuse. Japanese learners' grasp of logical relationships or understanding of events may differ from native speakers, so misuse occurs. Therefore, in relevant teaching, we should focus on language training related to logical relations.

**Keywords:** adversative relation; "ても"; types of misuse; causes of misuse

### 1. 前言

日语的条件句可以分为顺接条件句、原因理由条件句、逆接条件句。作为顺接条件句使用的「～と、ば、たら、なら」和表示原因理由条件句的「から、ので」已经有了深入研究，其研究成果被广泛应用于日语教学，但是对于逆接条件句的研究尚且不充分。并且，前人研究指出，表示逆接关系的「ても」比表示顺接关系的「～と、たら、ば」更难习得（峯 2007），这应该与逆接条件句表达的关系更为复杂，其理论建构更难有关（丹羽 1998 等）。基于这些状况，本文认为有必要研究日语学习者使用「ても」时产生误用的实际情况，探究在习得「ても」时存在的问题。

### 2. 研究综述及研究目的

小泉（1987）从语用学角度解释了让步从句的特性，将让步从句分为“不特定让步从句”和“特定让步从句”<sup>1)</sup>（小泉 1987: 10-11）。安（1997, 1999）考察了逆接条件句的逻辑结构，认为「ても」可以分为主句肯定型和主句否定型两种。日本語記述文法研究会（2008）从形态特征、意义用法、形态差异、逆接条件与并列条件等角度阐述了「ても」的特点，认为「ても」是典型的表示假定逆接条件的表达方式，此外也可以表示反事实条件、事实条件（日本語記述文法研究会 2008: 148）。总体来看，前人以从句和主句之间的逻辑关系以及所包含的社会观念为中心对「ても」的用法进行了相关研究。

在接续表达的习得研究方面，以考察接续词的居多（市川 1998；範 2010 等），只有极少数考察过起连接关系的从句的习得问题（峯 2007；奥山 2001）。峯（2007）综合考察各类接续表达的习得问题，并指出表示逆接关系的「ても」比表示顺接关系的「～と、たら、ば」更难习得。但是，日语学习者在习得「ても」时会出现什么类型的偏误，尚且还没有相关研究。

因此，本文通过分析日语学习者偏误语料库中的语料，从语言学的角度分析表示逆接关系的「ても」出现偏误的原因和偏误类型，以期研究结果能反馈到日语教育中。

### 3 研究方法

本文使用《YUK 带标签中国日语学习者作文语料库》收集中国日语学习者在习得「ても」时产

生的偏误语料, 该语料库是日本关西学院大学于康课题组构建的日语学习者大型语料库, 容纳了中国 56 所高校的学生作文语料, 字数达 660 万字, 偏误标签达 22 万个, 该语料库的语料能够代表中国日语学习者出现的典型偏误。

本文在分析偏误语料时, 首先根据「ても」连接的前项事件和后项事件之间的逻辑进行分类, 然后通过对比「ても」和「が/けど」等接续助词在意思和用法上的差异, 重点分析逆接条件句中的偏误情况。在分析偏误语料时, 为了说明日语本族语者的使用情况, 本文将从日语本族语者语料库 KOTONOHA「現代日本語書き言葉均衡コーパス」中抽取语料, 与偏误语料进行对比。从 KOTONOHA「現代日本語書き言葉均衡コーパス」收集到的日语本族语者的语料, 本文以“作者+作品名”形式标记出处。

#### 4 考察与分析

日语学习者在顺接条件句和逆接条件句中都会使用「ても」, 在此我们先看逆接条件句中的偏误。

##### 4.1 顺接条件句中的偏误

(1) 5歳で、まだ学校に通っていなかったとき、お父さんに数学を教えられた。「1～10」の数字が覚えられなくても→なければ、ご飯を食べないでください」と言われたこともあった。

(2) しかし、自分のすきなことであっても、たとえすこしだけでもだれかに押し付けられる感じが<あっても→あると>、人間はそれを避ける傾向にあります。これは人間の基本的な心理構造です。

例句(1)和例句(2)都用了「ても」, 但是从句意来看, 前项事项(如:「数字が覚えられない」)和后项事件(如:「ご飯を食べないでください」)之间是顺接关系, 所以不应该用表示逆接的「ても」。

(3) 先生たちに頼んで、お二人と相談しても問題はございませんし、もし先生に頼める人がいれば、<推薦していただいても→推薦していただけると>ありがたいです。

例句(3)也用了「ても」, 并且这句话中有两个「ても」, 所以可以认为日语学习者是想用「ても」表示“也”的意思。确实, 「ても」除了表示逆接之外, 还可以表示两个事项的并列, 如下列例句(4)和例句(5)<sup>2)</sup>。但是, 当表示两个事项的并列时, 谓语通常相同或者意思相近, 例句(3)中的「問題はございません」和「ありがたい」表达的意思不一样, 因此「ても」较难解释成为个事项的并列。

(4) 普段別に異常を感じないし、検診の結果を見ても、やはり異常はなかった。

(5) ご飯にかけてもおいしいし、パンに付けてもうまいよ。

##### 4.2 逆接条件句中的偏误

日语学习者使用「ても」时, 常常与「が/けど」「ながらも/つつ」等其它表示逆接关系的接续助词混淆, 从而产生偏误。在此, 首先看一下因为与「が/けど」混淆而出现的偏误。

###### 4.2.1 “ても→が/けど”的偏误

(6) 進路について真剣に考えるべきだ。人生を設計することが目下の一番大切なことだと感じた。いろいろな考えが<あっても→あるが>、自分の趣味と特技を生かして、私はガイドになることにした。来年の6月、ガイドの資格の試験を受ける。

偏误例句(6)用了「ても」, 但是应该用「が」。为了确定「ても」属于偏误的原因, 我们首先需要明确「ても」和「が」的区别。

丹羽（1998：763）认为「ても」从句可以表达假定条件、恒常条件、确定条件。

- (7) a. 彼は雨が降っても出かけるだろう。(假定条件)  
 b. 彼は雨が降っても出かけるのが常だ。(恒常条件)  
 c. 彼は雨が降っても出かけた。(确定条件)

日本語記述文法研究会（2008：148-157）认为「ても」表示逆接关系的假设条件、反事实条件、事实条件，而「が／けれど」可以表示前项事件和后项事件之间形成的对比、逆接和让步关系。

- (8) a. この腕時計は水にぬれても大丈夫だろう。(假设条件)  
 b. この腕時計なら水にぬれていても大丈夫だっただろうに。(反事实条件)  
 c. この腕時計は水にぬれても大丈夫だった。(事实条件)  
 (9) a. 欧米の大学は、入るのは簡単だが、出るのがむずかしい。(对比关系)  
 b. 先生にも聞いてみたけれど、わからなかった。(转折关系)  
 c. 掃除は行き届いていなかったけど、いい民宿だった。(让步关系)

日本語文法学会（2014：308）则认为「ても」是表示让步关系的典型表达。

- (10) a. 薬を飲んでも熱は下らない。  
 b. タクシーに乗らなくても電車で【間に合うだろう／間に合った】。

通过上述论述可以看出，日本語記述文法研究会（2008）和日本語文法学会（2014）对让步关系的界定不同，日本語記述文法研究会（2008）所说的让步关系是指虽然承认前项事件（如：「掃除は行き届いていなかった」），但是与之相对的后项事件（如：「いい民宿だった」）也同时成立。而日本語文法学会（2014）所说的让步关系是指即使存在前项条件（如：「薬を飲む」），但是这并不影响后项结果（如：「熱は下らない」）的成立。本文认为，与「が／けれど」不同，「ても」主要表示前项事件是后项事件的条件关系。

前田（1995）认为，例句（11）中虽然「ても」和「けど／が」的前提都是预想「薬を飲めば治る／薬を飲んだから治った」，表示实际情况与预想不一致，从而都形成逆接关系，但是两者在语义上有区别。「ても」表示除了做了前项事件「薬を飲んだ」之外，还做了其它事情，然而即使如此也没有发生预想的结果，所以「ても」可以重复使用，也可以含有「どんな」等表示不特定语义的词。但是，「けど／が」则没有这种含义。

- (11) a. 薬を飲んだけれども、治らなかった。(前田 1995：499)  
 b. 薬を飲んでも、治らなかった。(同上 .499)  
 (12) a. 薬を飲んでも、手術をしても、治らなかった。(前田 1995：500)  
 b. どんな治療をしても治らなかった。(同上 .500)

丹羽（1998：765-766）也认为，「ても」是从说话者设想的多个同类事件中选择出其中一个事件，如果不存在多个同类事件，那么使用「ても」会显得不自然。下列例句中的（13a）和（14a）不自然，就是因为在该语境中的前项事件很难解释为是从说话者设想的多个同类事件中选择出的一个事件。而（13b）和（14b）中的「雪が降る」「山田がすぐに承知する」则不一样，以（13b）的「雪が降る」为例，因为是尚未发生的事件，所以有可能下雪，也有可能不下雪，然后说话人从设想中选择其中一项「雪が降る」，表达即使此条件成立也不影响后项结果。

- (13) a. きこの夕方急に用事ができて、雪が降っていき【\*ても／たけど】、出かけたんです。  
 (丹羽 1998：765)

- b. あした用事ができたら、雪が降っていても、出かけるつもりです。(同上 .765)
- (14)a. 山田たちに聞いてみたよ。そしたら、山田はすぐに{\* 承知しても／承知したけど}、田中はなかなかうんと言わなかった。(同上 .765)
- b. 山田たちに聞いてみなよ。仮に山田がすぐに承知しても、田中はなかなかうんと言わないだろう。(同上 .765)

如果「ても」表示的是确定条件，则需要语境中明确是从说话者设想的多个同类事件中选择出其中一个事件。如例句(15)所示，「この前」是「最近」多个事项中的一项，因此才可以使用「ても」。

- (15) 彼、最近見ないね。一この前、家に行ってもいなかったよ。(丹羽 1998:766)

由此可见，前述偏误例句(6)之所以不自然，是因为前项事件「いろいろな考えがある」不是影响后项事件「私はガイドになることにした」的条件，并且前项事件「いろいろな考えがある」也不是从多个事项中选出的其中一项，所以不能使用「ても」。偏误例句(6)要表达的是虽然承认前项事件，但是事实是做了后项事件，这属于日本語記述文法研究会(2008)所说的让步关系，可以使用「けど／が」。

下列例句(16)和(17)也是存在相同的偏误现象。

- (16) 去年、九月に私は大学生になりました。私は日本語を勉強します。日本語は少し難しいくても→ですが、私は日本語が大好きです。
- (17) 子供を虐待するのか。私が子供の時、ずっと毎年6月1日を楽しんだ。立派に演じられるように、練習はすこし苦勞しても→苦勞したが、楽しかった。自分の節に、日常生活と違うこと、つまり出し物に出るのは最高だったと思う。
- (18) いくら難しくても、私は日本語が好きです。(作例)

以例句(16)为例，虽然前项事件「日本語が難しい」是影响后项事件「日本語が大好きではない」的条件，但是在该语境中的前项事件「日本語は少し難しい」是确定条件，并不暗含从说话者设想的多个同类事件中选择出其中一个事件，所以例句(16)不自然。如果将前项事件「日本語が難しい」中加上表示程度的「いくら」，则可以使用「ても」，如例句(18)。这是因为「いくら難しくても」表示“不管多难”，是从多个程度中选择其中的最高程度，这样就符合「ても」的语义要求了。

#### 4.2.2 “ても→ながらも／つつ”的偏误

日语学习者会将「ても」和「ながらも／つつ」混淆而产生偏误，不过偏误数量不如「が／けど」多。

- (19) 普段の練習は、いつも父がすぐそばで付き添ってくれたから、その二つの車輪がついているものをく怖がっていても→怖がりながらも、安心してペダルを踏めるようになってきました。それにしても坂道を下るときには、とても恐ろしかったです。

例句(19)中「ても」连接的后项事件「安心してペダルを踏めるようになってきました」是一个确定事件，而前项事件「二つの車輪がついているものを怖がる」表达的是确定条件，并不暗含是多个同类事件中的一个事项，所以不能使用「ても」。根据句意可以看出，后项事件「安心してペダルを踏めるようになってきました」和前项事件「二つの車輪がついているものを怖がる」是对立的两个事件，并且两个事件同时存在，因此可以使用「ながらも」。

丹羽(1998:767)指出「ながらも」有两个特点，一个特点是前项事件和后项事件基本同时存在，另一个特点是前项事件和后项事件针对同一要素对立。例句(19)的语境正好符合「ながらも」的这两个特点。

(20) 彼は一方ではライバルでありながら、一方では親友であった。(丹羽 1998 : 767)

(21) 同じ人間でありながら、ずいぶん境遇が違う。(同上 .767)

例句(22)中使用「ても」之所以不自然,是因为前项事件「(自分が)文句を言う」和后项事件「(自分が)我慢して続ける」之间不具备因果关系。下面的例句(23)和例句(24)用了「ても」,因为例句(23)的前项事件「文句を言う」是影响后项事件「結婚の準備が進む」成立的一个要素,具有因果关系。同样,例句(24)的「ても」的前项事件「文句を言う」也会影响后项事件「効果はない」成立的一个要素,并且暗含着「文句を言う」和「文句を言わない」两种选择,因此例句(23)和例句(24)可以使用「ても」。而偏误例句(22)的前项事件「(自分が)文句を言う」和后项事件「(自分が)我慢して続ける」之间是一种对立并且同时进行的关系,所以可以使用「つつ」。

(22) 最初はずいぶん苦しい時間を過ごしました。毎日そんなにたくさん単語を覚えさせられましたが、文句を <言っても→言いつつ> 我慢して続けました。今は、慣れたので、もっと深い興味があります。人の人生もそのとおりです。

(23) だが、あなたがどれほど文句を言っても、結婚の準備は急ピッチで進んだ。(宮部みゆき『誰か』)

(24) しかし、相手が不注意や予測の甘さのために失敗したことがわかって、「しまった」と思っているときに、ただ頭から文句を言っても効果はない。(小林道正『「数学的発想」勉強法』)

#### 4.2.3 其它偏误

此外,与「ても」相关联,日语学习者还使用了「といっても」。

(25) 五日にわたって何人かの子供の世話をしました。純真な子供はいたずらしたりしてわんぱくでした <といっても→が>、毎日活発で可愛かったと思います。私たちは子供と一緒に歌ったり、踊ったり、ゲームをしたりするなど……。

(26) 料理ができるといっても、卵焼きぐらいです。(グループ・ジャマシイ 1998 : 307)

例句(25)用了「といっても」,也是偏误。如例句(26)所示,「といっても」表示说话者期待的前项事件「料理ができる」的程度其实并不高。例句(25)的前项事件「いたずらしたりしてわんぱくである」和后项事件「活発で可愛かった」是两个对立的事件,后项事件不是对前项事件程度的补充说明,所以不能使用「といっても」,应该使用「が」。

(27) 石鹸のように泡立たないから、手ぬぐいを使って背中を洗う <といっても→というより> 垢をこすり取るためである。

(28) 彼は堅実家というよりけちとだと言うほうが当たっている。(グループ・ジャマシイ 1998 : 630)

例句(27)也用了「といっても」,虽然前项事件和后项事件含有逆接关系,但是后项事件并不是对前项事件程度的补充说明,所以使用「といっても」属于偏误。因为句子表达的意思是与其说是前项事件「手ぬぐいを使って背中を洗う」,还不如后项事件「垢をこすり取るためだ」的说法更妥当,所以应该使用「というより」。

## 5. 结论

本文讨论了中国日语学习者在使用表示逆接关系的「ても」时产生的偏误,重点分析了在逆接



### 30 A Study on the Misuse of 「ても」 Expressing Turning Relationship

条件句中出现的偏误情况以及构成偏误的原因，结论可以归纳如下：

(1) 中国日语学习者在使用「ても」时，常常与「が / けど」混淆，没有分清楚「ても」使用的条件，往往是只根据语境中是否表示逆接关系来决定是否使用「ても」。因此，日语教学过程中应该促使日语学习者注意「ても」的使用环境，尤其是与「が / けど」的区别。

(2) 日语学习者使用「ても」时，出现的错误类型多种多样，不仅是逆接条件句中会出现偏误，甚至顺接条件句中也会有偏误；而且，在表示对比关系、对前项事件的程度补充说明时也会使用「ても」，从而导致产生偏误。这可能是因为对逻辑关系的理解不同，或者是因为社会观念有差异造成的。

本文仅考察了「ても」与其它接续助词混淆而产生的偏误，今后应该进一步考察漏用「ても」的偏误情况，从整体上阐明日语学习者在使用「ても」的语言意识，寻求更加有效的日语教学策略，提升学习者的日语运用能力。

注：

- 1) “不特定让步从句（不定化譲歩文）”是指不管在什么条件下都不会得到预想的结果，“特定让步从句（特定化譲歩文）”是指举出极不可能发生的一个事例的让步从句。
- 2) 例句（4）和例句（5）来源于丹羽（1998：763）。

参考文献：

- [1] 安善柱, 1997. 逆接条件文に関する一考察 [J]. 筑波応用言語学研究 (4): 55-68.
- [2] 安善柱, 1999. 「～ノニ」と「～テモ」の相違点について [J]. 筑波応用言語学研究 (6): 15-26.
- [3] 市川保子, 1998. 接続詞と外国人日本語学習者の誤用 [J]. 九州大学留学生センター紀要 (9): 1-18.
- [4] 市川保子, 2018. 日本語類義表現と使い方のポイント—表現意図から考える— [M]. 東京: スリーエーネットワーク.
- [5] 于康, 林璋, 于一樂, ほか, 2017. 日语格助词的偏误研究 (上) [M]. 杭州: 浙江工商大学出版社.
- [6] 小泉保, 1987. 譲歩文について [J]. 言語研究 (91): 1-14.
- [7] 奥山和子, 2001. 留学生の日本語習得過程における接続表現の分析—作文・文章表現の観察・比較から— [J]. 神戸大学留学生センター紀要 (7): 37-52.
- [8] グループ・ジャマシイ, 1998. 教師と学習者のための日本語文型辞典 [M]. 東京: くろしお出版.
- [9] 丹羽哲也, 1998. 逆接を表す接続助詞の諸相 [J]. 大阪市立大学文学部紀要 (第五十卷第十分冊): 743-777.
- [10] 日本語記述文法研究会, 2008. 現代日本語文法 6 [M]. 東京: くろしお出版.
- [11] 日本語教育学会, 2005. 新版日本語教育辞典 [M]. 東京: 大修館書店.
- [12] 日本語文法学会, 2014. 日本語文法辞典 [M]. 東京: 大修館書店.
- [13] 範海翔, 2010. 日本語母語話者と中国人日本語学習者の意見文における接続表現に関する比較研究 [J]. 言語の普遍性と個別性 (1): 87-105.
- [14] 前田直子, 1995. ケレドモ・ガとノニとテモ—逆接を表す接続形式— [M] // 宮島達夫, 仁田義雄 (編). 日本語類義表現の文法 (下). 東京: くろしお出版: 496-505.
- [15] 峯布由紀, 2007. 認知的な側面からみた第二言語の発達過程について—学習者の使用する接続辞表現の分析結果をもとに— [J]. 日本語教育 (134): 90-99.
- [16] 森山卓郎, 2000. ここからはじまる日本語文法 [M]. 東京: ひつじ書房.